医療法人つくし会
南国病院

日本医療機能評価機構認定病院
初回認定 2011年8月5日
3rdG:Ver.3.0 更新認定
主たる機能:慢性期病院
副　機　能:精神科病院

広報誌 つくし

発行日　2026年10月31日発行

第56号

医療法人つくし会　南国病院
第10回 地域オープンセミナー
在宅医療支援センター・センターホール　2026.10.17（土）

目　次

人権啓発研修「 だれもが幸せにくらすために 」	2
精神科虐待防止研修を実施して	2
ジミー大西「ホームタウン」高知展を見に行こう！	3
秋 の 桂 浜	3
外来患者満足度・外来待ち時間調査の結果報告	4
入院患者満足度調査の結果報告	5
「大篠こども食堂」様へ清涼飲料水を寄付させて頂きました	6
つくしカーニバル	6
職員旅行	7
患者さんの権利	7
診療のご案内	8



講演 Ⅰ

「人生を楽にする4タイプ分類」
南国病院　精神科医師　石田 青鳥



講演 Ⅱ

「てんかんは
　子どもだけの病気ではないですよ…」
南国病院　脳神経内科部長　葛目 大輔



学術研修委員会委員長

副院長･精神科部長　玉元 徹

セミナーは二つの講演がありましたが、第10回の節目にふさわしく二つとも有意義な講演でした。

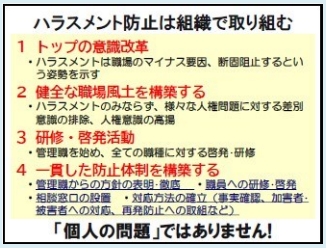
最初の石田青鳥先生の人間の欲望の4タイプ分類は、人と人がうまく関わっていくための示唆に富む内容で、一般の人も役に立ちますが、我々医療人にとっても非常に興味深い内容でした。後日、みなさんがネット上にある診断ツールで各自診断した結果をお聞きすると、みなさんがご自身で予想していたタイプと実際の診断結果が異なるということも興味深いことでした。石田先生ありがとうございました。

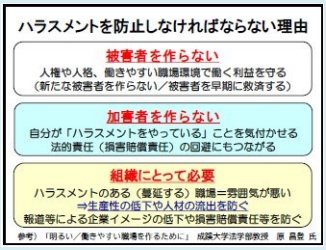
2番目の葛目大輔先生のてんかんのお話は、一般の人に対する医学的な啓蒙としても非常に重要な内容でしたし、我々精神科医にとってもとても役に立つ内容でした。特に私にとってはこれからの診療にすぐに役に立つことがいっぱいありましたので、非常に助かりました。てんかんの発病は、うつ病の発病のように2峰性であることも知ってはいましたが、認知症の人に多く発病することは初めて知りました。他にも診療に役立つ内容が多くありました。葛目先生ありがとうございました。

講師のお二人以外にも質問してくださった職員の方々もありがたかったですが、中城先生が最後までしっかりお聞きになって質問までしてくださったことも、とても嬉しく思いました。最後に、例年手伝って下さる学術研修委員会のメンバーの方々や車の誘導係の方々にも感謝申し上げます。

人権啓発研修「 だれもが幸せにくらすために 」～ハラスメント防止について～

公益財団法人 高知県人権啓発センター　研修講師 江渕弘明先生　2026.6.25（木）





人権啓発研修を振り返って

看護部長　小松 匡輔

6月25日、「だれもが幸せにくらすために～ハラスメント防止について～」をテーマに、人権啓発研修を開催しました。公益財団法人高知県人権啓発センターの江渕弘明先生を講師にお迎えし、ハラスメントの基本的な考え方に加え、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）や心理的安全性について学びました。

今回の研修を企画するにあたり、単に「ハラスメントをしてはいけない」という知識を身につけるだけではなく、日頃の自分自身の言葉や態度、周囲との関わり方を振り返る機会にしたいと考えました。特に、相手の人格や気持ちを尊重しながら関わること、そして、分からないことや失敗を安心して伝えられ、互いに気づいたことや意見を伝え合える職場の大切さについて、一人ひとりが自分自身の関わり方を振り返る機会となりました。

アンケートでは、参加者の多くが「新しい発見や気づきがあった」「今後の生活や仕事に活かせることがあった」との回答がありました。「自分の言動を振り返りたい」「相手を尊重したコミュニケーションを心掛けたい」「心理的安全性の高い職場をつくりたい」といった声も多く寄せられ、研修が自身の行動を見つめ直すきっかけとなったと思います。

ハラスメントを防ぐことは、単に問題を起こさないためだけではありません。職員一人ひとりが安心して働き、自分の意見を伝え、互いに支え合いながら成長できる職場をつくることにつながります。今回の学びを一過性の研修で終わらせることなく、日々の「声のかけ方」「聴き方」「伝え方」に生かし、互いの人権を尊重できる南国病院を職員みんなで築いていきたいと思います。

精神科虐待防止研修を実施して

2026.6.5（金）・6.17（水）
南国病院本館　多目的ホール

地域連携･医療相談室長
認定精神保健福祉士　山本 真里

厚生労働省が各自治体に実施した調査では、病院での虐待事案の多数が「患者への暴行」で占められています。虐待は、瞬間的なやり取りの中で起こることが多く、暴力や暴言に対して職員が応戦してしまうことも要因として考えられます。その為、多くの医療機関では、アンガーコントロールやアサーショントレーニングなど、自己スキルを高める手法が紹介されています。





当院では、これらとは異なる方法として、「クロスロード」を活用した対面研修を実施しました。クロスロードは、文部科学省の研究プロジェクトとして阪神淡路大震災の実話をもとに開発されたゲーム型の防災教材です。神戸市職員が実際に対応した難しい状況判断を、自らの問題として考え、YES/NOで自分の考えを示し、判断の根拠となった経験や考え、知識の共有や共感を行うものです。

この手法が虐待防止研修にも活用できると考え、玉元先生、精神科病棟師長、医療安全管理者、地域連携･医療相談室でチームを組み、複数の葛藤が起こる場面を、研修用にフェイクを加え、当院オリジナルのクロスロードを作成しました。

当日は、病棟看護職だけでなく、事務、栄養、薬剤、リハビリ、外来、デイケア、訪問看護、医師、ソーシャルワーカーなど

の他部署多職種が2日間で60名参加しました。6～7名を1グループとしてグループワークを中心に実施し、職種を超えて意見交換することで、それぞれの立場や現場の状況に思いを巡らせるという機会にもなり、新たな気付きも生まれていました。

虐待防止には、病院全体で考える風土が重要です。当院には既に、全員で考える時間を共有できるという“強み”があると思いました。患者さん、ご家族、職員の誰もが傷つかない現場を目指し、今後も内容を工夫しながら研修を継続していきたいと考えています。

ジミー大西「ホームタウン」高知展を見に行こう！

2026.8.25（火）
高知県立美術館

精神科デイケア室　看護師　永森 千恵

8月25日午後にジミー大西ホームタウンを見に県立美術館へ行って来ました。沢山の色鮮やかな作品に写真を撮りながら「上手やねえ」と感心して見て回りました。売店に行くと気に入った絵の版画があり値段を見て高額でびっくり「買えるわけない」と諦めるメンバーさんもいました。作品は良かったのですがジミーちゃんに会なかったのが心残りのままこの日は帰りました。せっかくまだジミーちゃんが高知にいるので3日後、今度は午前中に美術館へ行き会場に入るとジミーちゃんが作品の説明をしているところへ遭遇！！慌てて携帯を取り出し写真を撮るメンバーさんにジミーちゃんのギャグ「やってるやってるう！」とポーズのサービスがあり何枚も撮りました。「やっとジミーちゃんに会えた」と嬉しそうにジミーちゃんの写真を見ながら大満足で帰りました。



メンバーKさんより
「テレビと変わらなかった。以前よりボケ感がなくなっていた。芸人さんの頭の中が分からんけど、素晴らしい才能だと思った。」
メンバーKさんより
「素晴らしい作品ばかりだった。テレビで見るよりハンサムだった。会えて良かった。」

秋　の　桂　浜

2026.9.17（木）
桂浜



精神科デイケア室　作業療法士　北川 結大

令和8年9月17日に桂浜に出かけてきました。当日は天気も良く、秋めいてきたのか空気も涼しく過ごしやすい気候の中で散策できました。デイケアで桂浜に行くのは3年ぶりとのことで皆さん楽しみにされていました。到着すると早速買い物をされる方や店内でお茶をされる方、海岸を歩いて階段を上りシンボルである「坂本龍馬像」を見学される方、海から吹く心地よい風を浴びながらベンチでまったり過ごす方など各々楽しまれていました。「何十年も高知に住んじゅうけどここの龍馬像を見るのは初めて。立派や。」と感動されている方もいました。「ソフトクリームおいしかった」「イカ焼きの値段が上がってた」「お土産もいっぱいあって楽しい」「また来たいね」と皆さん満足され桂浜を後にしました。

メンバーK・Tさんより
久しぶりに見た坂本龍馬の像は背が高く、高知の見物の1つだと思った。

外来患者満足度・外来待ち時間調査の結果報告

2026年4月実施

外来看護師長　國本 美香

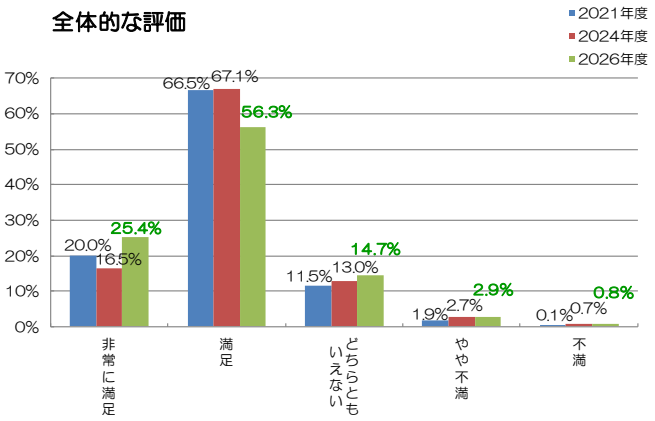
2026年4月、当院外来を受診された患者様100名を対象に「外来患者満足度調査」および「外来待ち時間調査」を実施いたしました。ご協力いただきました患者様およびご家族の皆様に心より御礼申し上げます。

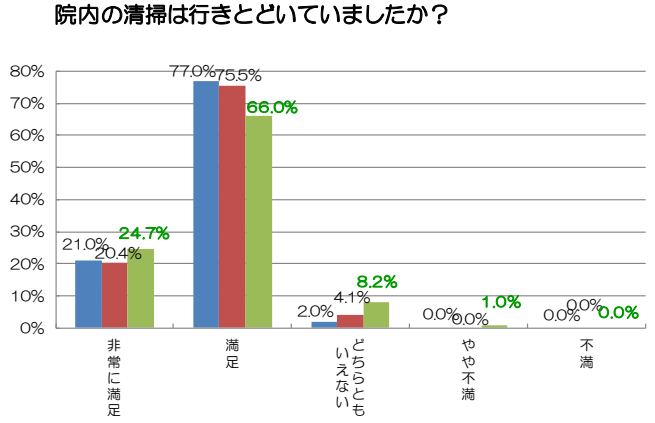
外来満足度調査では、全体的な評価として「満足」「やや満足」を合わせた肯定的評価が81.7%となり、高い評価をいただきました。特に職員の接遇面においては、医師（89.8%）、看護職員（87.6%）受付職員（93.0%）のいずれも9割前後の高い満足度を得ております。また、施設・設備の清掃や清潔保持に関しても「清掃が行き届いている」「トイレが清潔で使いやすい」といったご意見をいただき、日頃の取り組みが成果として表れていることを大変嬉しく感じております。

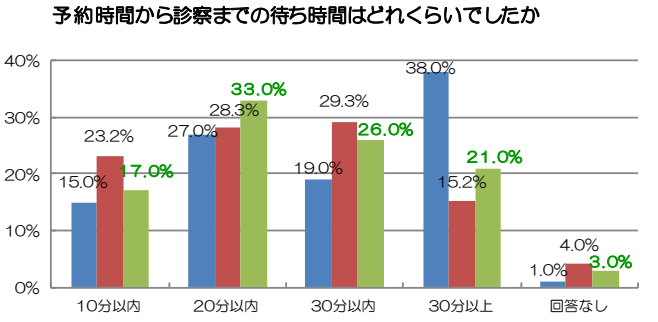
一方、外来待ち時間調査におきましては、予約時間から診察開始までの時間が「20分以内」と答えた方が50.0%を占める一方で、「30分以上」の待ち時間が発生している方も21.0%おられました。待ち時間に対する感覚として「長い」「やや長い」と感じられた割合は計34.0%となっており、過去の調査（2012年度：42.0%、2024年度：28.2%）と比較しても、依然として改善に向けた継続的な取り組みが必要な課題であると認識しております。

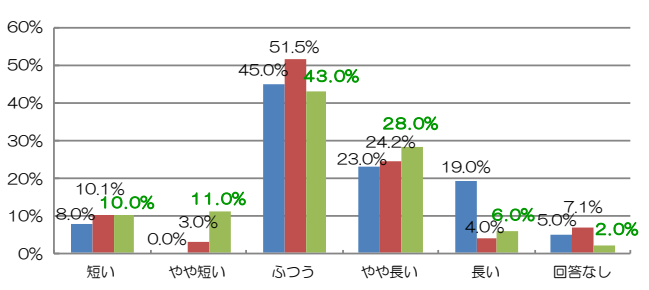
患者様からの自由記述では「スタッフが優しく丁寧で安心して受診できる」といった温かいお言葉をいただく一方で、「あとどのくらい待つのかの目安や声掛けが欲しい」「検査時のプライバシー配慮を徹底してほしい」などの貴重なご指摘・ご提案も頂戴いたしました。

業務改善委員会では今回の集計結果やいただきました貴重なご意見を重く受け止め、待ち時間についての丁寧な声掛けの徹底やプライバシー配慮の強化を図るとともに、さらなる待ち時間の短縮と医療サービスの向上に職員一丸となって努めてまいります。今後ともお気づきの点がございましたら、お気軽にご意見をお寄せ下さい。









入院患者満足度調査の結果報告

2026年5月実施

入院患者満足度調査を終えて

看護部長　小松　匡輔

2026年5月に実施した「入院患者満足度調査」では、100名に配布し、88名の患者様・ご家族から回答をいただきました。ご協力いただきました患者様・ご家族の皆様に、心より御礼申し上げます。今回いただいた貴重なご意見は、今後のより良い病院運営と医療・看護サービスの向上につなげてまいります。

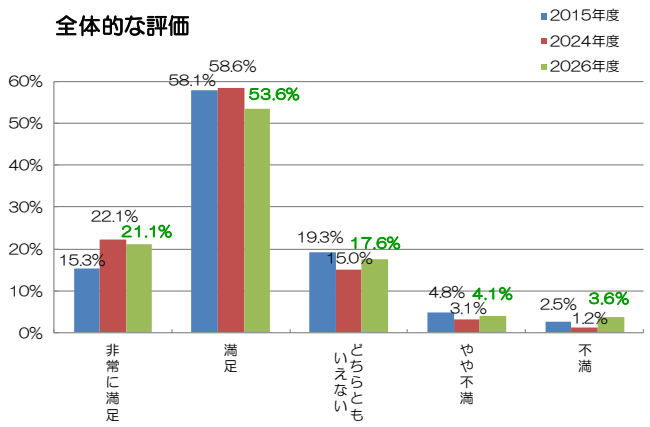
全体的な評価では、「非常に満足」21.1%、「満足」53.6%で、合わせて74.7%の方から肯定的な評価をいただきました。また、「職員は接しやすい雰囲気ですか」という項目では、「非常に満足」30.6%、「満足」56.5%と、87.1%の方が肯定的に回答されています。看護職員についても、応対や身だしなみ、話しやすさ・傾聴などの項目で80%を超える高い評価をいただき、日々患者様に寄り添っている職員の姿勢が評価された結果と受け止めています。

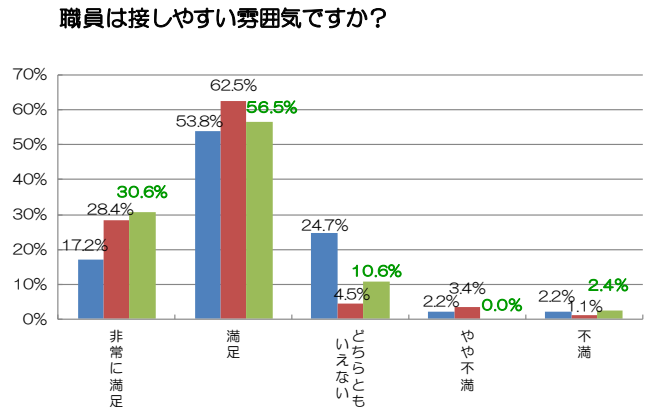
一方で、改善すべき課題も明らかになりました。特に「面会時間」は「非常に満足」5.9%、「満足」45.9%にとどまり、面会時間の延長を希望する声も寄せられています。

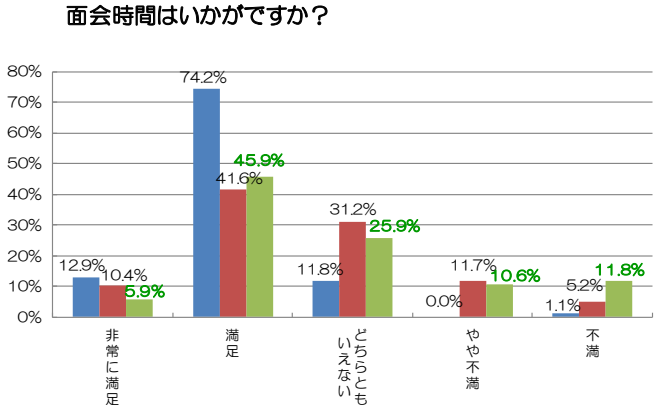
また、ナースコールへの対応、職員間の情報共有、薬や治療に関する説明、退院後の生活に関する説明などについても、改善の余地があることが示されました。

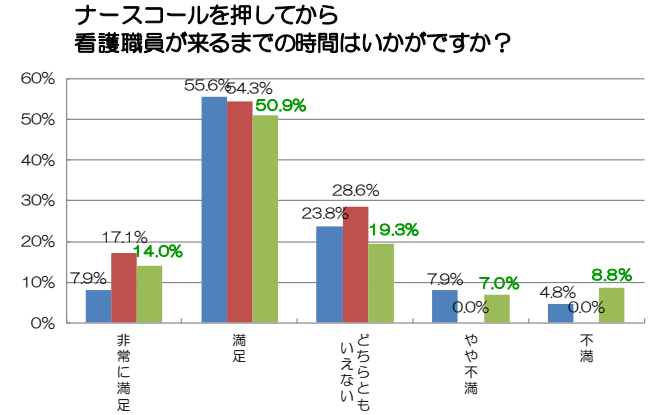
自由記載では、「いつもよくしていただいて感謝しています」「患者の状態をきれいに整えてくれてありがたい」など、職員への感謝の言葉を多くいただきました。その一方で、職員の接遇や情報共有、環境面に関する率直なご意見もありました。これらは、私たちが日々の業務を振り返り、より良いサービスを考えるための大切なご指摘です。

患者様・ご家族からいただいた「声」を真摯に受け止め、良かった点はさらに伸ばし、改善すべき点については各部署・各職種が連携して取り組んでいくことが重要です。患者様に「この病院を選んでよかった」と思っていただけるよう、職員一人ひとりが患者様・ご家族の立場に立った温かい医療・看護を実践し、信頼される病院づくりを進めてまいります。









「大篠こども食堂」様へ清涼飲料水を寄付させて頂きました。

2026.10.10（土）
南国市大篠こども食堂（JA高知県なんごく南支所2階）

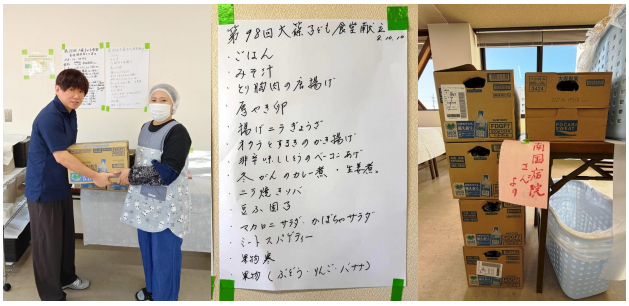
事務部長　中川 博文

10月10日、南国病院から「大篠こども食堂」様へ清涼飲料水を寄付させて頂きました。

今回寄付した飲料は、9月26日に開催が予定されていた「土佐のまほろば祭り」で、当院ブースの催しに参加いただいた皆さまへの粗品として準備していたものです。

残念ながら今年のまほろば祭りは雨天により中止となりましたが、準備していた飲料を地域のために有効に活用できないかと考え、以前から何らかの形で協力する機会を検討していた「こども食堂」へ寄付することとなりました。

今回お伺いした「大篠こども食堂」様の会場では、多くのテーブルと椅子が並べられ、食事の提供に向けた準備が進められていました。会場には、地域のさまざまな方々から提供されたお米や卵、野菜などが集まり、食材等の提供者を紹介する掲示には、飲料の提供者として南国病院の名前も加えていただいていました。こうした様子からも、「大篠こども食堂」様が地域の多くの方々の協力によって支えられていることがうかがえました。



予定していたお祭りは残念ながら中止となりましたが、そこで準備していた飲料を、地域の子どもたちや皆さまのために役立てていただく機会へとつなげることができました。

南国病院では、これからも地域の一員として、医療の提供だけにとどまらず、さまざまな形で地域の皆さまとのつながりを大切にしてまいります。

大篠こども食堂のご案内

「大篠こども食堂」は、毎月第2土曜日に開催されており、子どもから大人の方まで参加することができます。

開催日時：毎月第2土曜日　11：30～14：30
場　　所：JA高知県なんごく南支所2階（南国市大埇乙894-1）
料　　金：高校生以下　無料、大人　300円
※開催日は地区行事等により変更となる場合があります。

つくしカーニバル

2026.10.15（木）
南国病院 在宅医療支援センター・センターホール

外来看護師長　國本 美香

当院の福利厚生イベント「つくしカーニバル」は、職員の健康増進とリフレッシュを目的に定期開催しています。



2023年11月にスタートし、今月で12回目を無事終了しました。これまで、ダンスエクササイズやK-POP、J-POP、ZUMBAといった楽しく体を動かせるプログラムに加え、「からだ整うストレッチ」などのリラクゼーション講座を実施しています。

2025年4月からは「健康スタンプラリー」もスタートし、日々の健康意識を高めるきっかけ作りにも繋がっています。

参加者からは「業務後の良いリフレッシュになる」「部署を超えて楽しく交流できる」といった嬉しい声も多く寄せられ、毎回賑やかな雰囲気で行われています。



今後もどなたでも気軽に参加できる魅力的な内容を企画してまいります。

皆様のご参加を心よりお待ちしています。

職員旅行 2026

香川・徳島
2026.6.20(土)～21(日)
27名参加



大阪
2026.10.22(木)～23(金)
31名参加



ANAクラウンプラザホテル高知 スイーツビュッフェ
2026.8.23(日)
職員63名・家族26名参加



患者さんの権利

当院は患者さんの信頼に基づく適切な医療を行うために
患者さんの基本的な権利を尊重します。

患者さんの権利

1. 患者さんが適切な医療を平等に受ける権利
患者さんは差別されることなく平等に、当院で達成可能な医療を受ける権利があります。
2. 患者さんの人格、価値観が常に尊重される権利
患者さんはひとりの人間として、その人格、価値観などが尊重されます。
3. 患者さんが医師等から十分な説明を受け、自らの意思で医療行為を選択・決定する権利
患者さんは、医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の治療法などについて説明を受け、医療の内容を十分理解し、同意した上で、適切な医療を選択し、受ける権利があります。同意できない場合は、医療を受けることを拒否することもできます。また、主治医だけの意見ではなく、第三者である医師の意見も聞いて判断したいと思われる場合には、自由にセカンドオピニオンを求める権利があります。患者さんが意識不明かその他の理由で意思を表明できない場合は、法律上の代理人が、患者さんの代わりに意思を決定する権利があります。
4. 患者さんがご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利
患者さんは、当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
5. 患者さんの個人情報、プライバシーが保障される権利
患者さんは、病院内での生活を、可能な限り、他人に侵害されない権利があります。また、医療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。
6. 尊厳に対する権利
患者さんは、その文化および価値観を尊重されるように、その尊厳とプライバシーを守る権利は、医療と医学教育の場において常に尊重されます。また、最新の医学知識に基づき苦痛を緩和される権利があります。人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、またできる限り尊厳を保ち、かつ安楽に死を迎えるためのあらゆる可能な助力を与えられる権利があります。

患者さんへのお願い

患者さんには、私たちが、安全かつ適切な医療の提供を行うために、次のことをお願いいたします。

1. ご自身の体調に関する情報を正しくお伝え下さい。
2. 医療に関するご希望を率直にお伝え下さい。
3. 検査や治療などの医療行為は十分なご理解と合意の上でお受け下さい。
4. 療養上必要な制約を受けることをご理解下さい。
5. 他の患者さんの治療や職員の業務に支障をきたさないようご協力下さい。

令和8年4月1日改訂　南国病院

診療のご案内

ホームページもご覧ください
http://www.nankoku-hp.or.jp/

診療科目	◆脳神経内科　◆精神科 リハビリテーション科 ◆内　科　◆消化器内科 ◆放射線科
診療時間	月～金　午前　8:30 ～ 12:30 午後　1:30 ～ 5:00 土　午前　8:30 ～ 12:30

休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
予約診療	全科予約診療となっております
救急指定	なし
健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
面会時間	感染状況により、面会方法が変更になります。 詳細はホームページにてご確認ください。

診療科／曜日		月	火	水	木	金	土
午前	脳神経内科	葛　目	中　澤	葛　目	中　澤	葛　目	中　澤 古　谷　※4
	精神科	藤　田	石　田	玉　元	玉　元	小　松	中　澤　※5 小　松　※6
	内科 消化器内科	速　瀬	速　瀬 10:30まで 中　城 10:30以降	中　城 麻　植（啓）	速　瀬 麻　植（啓）	速　瀬	速　瀬　※1 中　城　※2 麻　植(啓)※3
午後	脳神経内科			山　﨑　※7	山　﨑　※7	古　谷　※4	
	精神科	玉　元 赤　松	玉　元	石　田	河　合 小　松	石　田	
	内科 消化器内科	速　瀬	中　城 麻　植(淳)	中　城 麻　植（淳） (禁煙外来あり)	麻　植（淳）	速　瀬	

備考

※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1･第3土曜日です。
※2 中城医師の土曜日の診察は、第2･第4土曜日です。
※3 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第2･第5土曜日です。
※4 古谷医師の診察は、連続した最終金曜日･土曜日で再診のみです。
※5 中澤医師の土曜日午前の精神科の診察は、再診のみです。
※6 小松医師の土曜日の診察は、第1･第3土曜日です。
※7 山﨑医師の診察は、13:30～16:30です。

■認定･指定
日本神経学会准教育施設
日本精神神経学会精神科研修施設
日本老年精神医学会認定施設
高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

南国病院 理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき温かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

■病床数　162床

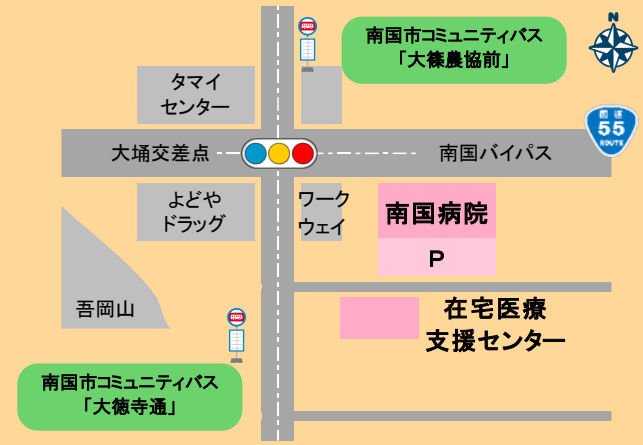
46床	2病棟	特殊疾患病棟(Ⅰ)
56床	3病棟	特殊疾患病棟(Ⅰ)
60床	5病棟	精神一般病棟(15対1)

基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経、精神及び消化器の疾病や障害を主な診療対象として、その診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への充分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で温かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上につとめ、病める人たちへの奉仕者としての自覚を持ちます。

■診療実績　2026年度4月～9月

外来患者数	15,975	名
(内新患数)	484	名
1日平均入院患者数	151.0	名
精神科デイケア利用者総数	2,378	名
通所リハビリテーション利用総日数	2,079	名
訪問看護ステーションおおそね訪問延人数	3,648	名



発行元/医療法人つくし会　南国病院
発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
高知県南国市大埇甲1479番地3
電　話 (088) 864 - 3137 (代表)
F A X (088) 863 - 3070
(088) 802 - 8618 (地域連携･医療相談室)